

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第4区分
【発行日】平成17年2月17日(2005.2.17)

【公開番号】特開2001-184675(P2001-184675A)
【公開日】平成13年7月6日(2001.7.6)
【出願番号】特願平11-362217
【国際特許分類第7版】

G 1 1 B 7/09

G 1 1 B 19/02

【F I】

G 1 1 B 7/09 B

G 1 1 B 19/02 5 0 1 S

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月15日(2004.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のブロックを有する媒体に対し情報の記録再生を行う情報記録再生装置における、ハードウェアの調整のための学習方法であって、
情報の記録中または再生中に、記録または再生を行っているブロックの中から前記学習を実施するのに適した学習用ブロックを検出し、
前記学習の実施が必要となったときに、前記学習用ブロックを用いて学習を実施することを特徴とするハードウェアの調整のための学習方法。

【請求項2】

請求項1記載のハードウェアの調整のための学習方法において、
最も新しく検出された学習用ブロックを用いて学習を実施することを特徴とするハードウェアの調整のための学習方法。

【請求項3】

請求項1記載のハードウェアの調整のための学習方法において、
前記媒体は、データ領域が複数のゾーンに分割されている媒体であり、
ゾーン毎に学習用ブロックを検出し、
前記学習の実施が必要となったときに、学習用ブロックが検出されたゾーンのうち、現在記録または再生しているゾーンに最も近いゾーンの学習用ブロックを用いて学習を実施することを特徴とするハードウェアの調整のための学習方法。

【請求項4】

複数のブロックを有する媒体に対し情報の記録再生を行う情報記録再生装置であって、
前記媒体に対し情報の記録再生を行う記録再生手段と、
前記媒体に対する情報の記録中または再生中に、ハードウェア調整のための学習を実施するのに適した学習用ブロックを検出する学習用ブロック検出手段と、
前記学習用ブロックのアドレスを記憶しておく記憶手段と、
前記学習の実施が必要となったときに、前記学習用ブロックを用いて学習を実施するよう前記記録再生手段を制御する制御手段と、
を具備することを特徴とする情報記録再生装置。

【請求項5】

請求項 4 記載の情報記録再生装置において、
前記記憶手段には、最も新しく検出された学習用ブロックのアドレスが記憶されていることを特徴とする情報記録再生装置。

【請求項 6】

請求項 4 記載の情報記録再生装置において、
前記媒体は、データ領域が複数のゾーンに分割されている媒体であり、
前記学習用ブロック検出手段は、ゾーン毎に学習用ブロックを検出し、
前記制御手段は、前記学習の実施が必要となったときに、学習用ブロックが検出されたゾーンのうち、現在記録または再生しているゾーンに最も近いゾーンの学習用ブロックを用いて学習を実施するよう前記記録再生手段を制御することを特徴とする情報記録再生装置。